

聖書箇所：ピリピ人への手紙1章12~26節
「喜びに生きる」

【1】 福音の前進-人間の計画を超えて-

- ・パウロの計画=ローマでの福音宣教
- ・「私の身に起こったこと」(ピリ 1:12)
 - 囚われの身に(使徒の働き 21 章 17 節~28 章 31 節)
 - 宣教の道が閉ざされた?
- ・投獄を通して
 - 新たな宣教地の開墾
 - 「福音の前進に役立った」(1:12)
前進(πρόωρα):軍隊や探検隊を想定し「前もって切り倒す」に由来

▷働が進むのを妨げているように見える出来事や状況が、自分では選択することのない新たな出会いや機会への「前進に役立つ」ことがあるのです。

【2】 福音のために

- ・パウロを苦しめる人々
 - 不純な動機による福音宣教
- ・パウロの関心事
 - キリストを信じる人が起こされること
- ・パウロを支えたもの
 - 信仰の友の祈り
 - イエス・キリストの御霊の支え

▷「ねたみや争い」に巻き込まれない秘訣は、友の祈りと御霊の支え、そして自分ではなくキリストがたたえられることを願うことです。

【3】 喜びに生きる

- ・パウロの願い=自分の身によってキリストのすばらしさが証しされること
- ・死は終わりではなく世を去ってキリストとともにいること
 - 旅人がテントを畳んで次の目的地に移動するように(IIコリ 5:1-8)。
- ・パウロが望みを置いたもの
 - 生きることが名声、人の称賛、力、権力、財力であった場合…

▷パウロは自分の生きる目的を「私にとって生きることはキリスト」と喜びをもって告白しました。この喜びは投獄や様々な苦しみによって取り去られることのない種類の喜びです。私たちも「喜びに生きる」ことができますように。

